



経筒と経塚

Kyushu Historical Museum Exhibition guide

1 経筒

経筒とは、^{きょうづつ}経典を納めて地中に埋めるための容器です。盛んに制作されたのは平安時代後期で、その背景となっているのは^{まつぼうしそ}末法思想です。日本では、平安時代後期の永承7年（1052）に、末法の世に突入すると考えられていました。つまりそれ以後は、仏教が全く衰えてしまう時代になると考えられていたのです。これは当時の人々にとって、まことに深刻なことでした。末法の世の到来は、この世の終わりに近い意味合いを持っていたのです。しかし、末法の世は永遠に続くわけではありません。実に遙かな未来のことですが、56億7千万年後、^{みろくぼさつ}弥勒菩薩が如来となってあらわれて教えを説き、みんなを救ってくれるとされているのです。そこで人々は、長い末法の世を越えたその時まで、仏の教えを伝えるために、^{ほけきょう}経筒に法華経をはじめとする経典を納め、祈りを込めて地中に埋めたのです。

2 銅製経筒

紙に墨で書いた、巻物の経典を納める経筒には、さまざまな材質のものがああります。その中で、最も広く一般的にみられるのが、銅製経筒です。そして銅製経筒にも、さまざまな形や技法のものがああります。主流は円筒形で、筒の全体を一気に^{びよう}鑄造してつくったり、鑄造製の輪を積み重ねてつくったり、銅板を丸く曲げて^{びよう}鑄で留めて筒状にしたりしてつくっています。また、銅板を組み合わせて、六角形や四角形など、多角形の筒につくすることもああります。北部九州に特徴的な銅製経筒としては、^{しおうじがたきょう}四王寺型経筒や積上式経筒などがよく知られています。四王寺型経筒は、^{ふた}蓋に宝珠型のつまみをもち、筒の上下と真ん中あたりの高さのところに、竹の節のように凸帯をめぐらせていて、そして比較的肉厚で重みがああって、洗練された姿をしています。積上式経筒は、その名の通り鑄造製の輪を積み重ねてつくったもので、蓋の上に五重塔のような^{そうりん}相輪をもっているのも目を引きます。



四王寺型経筒（平安時代・12世紀）



陶製経筒（宋時代・12世紀）

3 陶磁製経筒

経筒には、陶磁器でできたものがあります。とくに北部九州では、陶磁製経筒は、盛んに用いられていました。そしてそれらの多くが、宋時代の中国からの輸入陶磁器なのです。中には、本来は別の用途をもっていたものが、経筒に転用されている例もあります。しかし多くは、元々経筒としてつくられているものです。ここで興味深いのは、多くを占めるこれらは、中国製であるのに、中国からは類例が見つかからないことです。このことについては、これらの陶磁製経筒は、日本向けに特別に生産していたものなのだと考えられています。平安時代後期から鎌倉時代にかけて、北部九州には多くの中国人商人たちが拠点を構えて、活発に大海を往来しつつ交易を行っていました。輸入陶磁製経筒は、彼らの存在を介して、北部九州と大陸とが密接に結びついていたことを、つよく実感させてくれます。

4 経塚

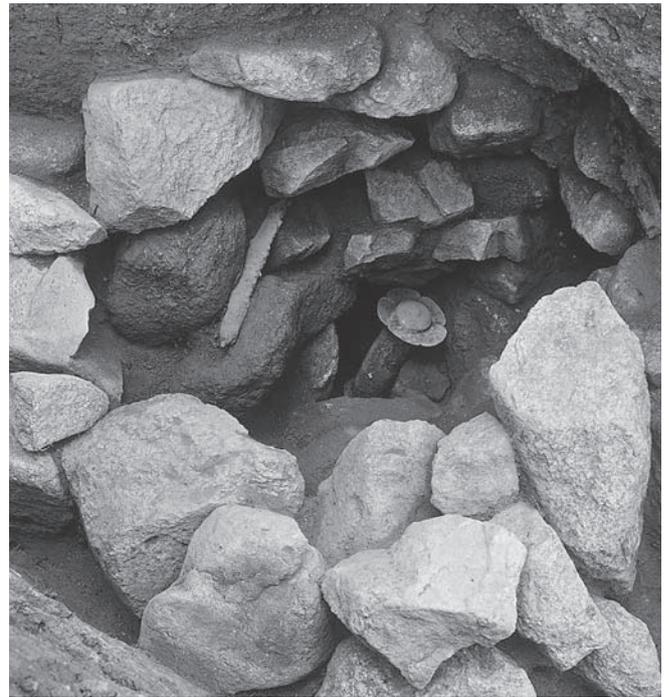
経筒には他にも、さまざまな材質や形状のものがあります。しかしいずれにせよみんな、遙かな未来へ経典を伝えるために、なるべく堅固なものを使おうとしているようです。そして実は、紙に墨で書いた経典を経筒に納めるというやり方だけではなくて、銅板きょうばんに経文を刻んだり、粘土板に経文を刻んで焼いて瓦経がきょうにしたり、石に経文を刻んだり墨で書いたりという例も、まま知られているのですが、これらについても同様のことが言えます。そして、これらを埋納した所である経塚きょうづかは、多くの場合、ただ穴を掘って埋めるというのではなくて、外容器に納めた上で、地下に小部屋をつかって埋めていたり、また御守りになるような品々を一緒に納めていたりします。経典まいのうしせつ、埋納施設ふくのうひん、副納品含め、経塚には埋納者たちの想いが映し出されているのです。経筒の場合多くは、残念ながら中の経典は朽ちてしまっていますが、想いは受け継ぎながら、遺されたものを未来へ伝えてゆきたいと思います。

(学芸調査室 井形進)



白山神社経塚出土遺物

積上式経筒（天仁二年・1109年）、外容器の壺、副納品の合子と銅鏡と短刀。壺と合子と銅鏡は宋時代のもの。



水城経塚出土風景

石室の中に、銅板を筒状に丸めてつくった経筒と、短刀が見えている。



編集

発行:平成23年2月1日

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106 福岡県小郡市三沢 5208-3
TEL 0942-75-9575 FAX 0942-75-7834
URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>